



# 吉村幸代 の活動レポート

第1号(上半期特大号)

よしむら さちよ

発行 吉村幸代後援会

〒399-0025 長野県松本市寿台9丁目4-1  
Tel & Fax 0263(58)0201  
E-mail sachiyu\_kun@ybb.ne.jp  
URL http://yoshimurajimusho.web.fc2.com

2015年10月発行



4月26日(日)夜、「開票速報を皆で見る会」が開かれました。主催は、「明善学区から市議を出そう」の会。当日限定でケーブルテレビ引き込んだ寿台ふれあいセンターには、地区内外から大勢の方々が詰めかけて、開票速報を見守りました。最初の1,000票までは順調だった開票状況が、徐々に失速し始めました。残り数議席となつてからは数字がまったく動かず、誰もが固唾をのんで手に汗を握り、緊張した面持ちです。ようやく私の名前前に「当選確実」の文字が冠された瞬間、「わあーっ」という大歓声が上がりました。2,038票獲得、第29位という「滑り込みセーフ」の当選。大きな言葉を述べた時、時計の針はどうに付変更線を超えていました。



▲大きな花束をいただいて感激。支え続けてくれた夫とともに

## 生活者の視点を忘れずに進みます。

松本市議に初当選!

4月26日(日)夜、「開票速報を皆で見る会」が開かれました。主催は、「明善学区から市議を出そう」の会。当日限定でケーブルテレビ引き込んだ寿台ふれあいセンターには、地区内外から大勢の方々が詰めかけて、開票速報を見守りました。最初の1,000票までは順調だった開票状況が、徐々に失速し始めました。残り数議席となつてからは数字がまったく動かず、誰もが固唾をのんで手に汗を握り、緊張した面持ちです。ようやく私の名前前に「当選確実」の文字が冠された瞬間、「わあーっ」という大歓声が上がりました。2,038票獲得、第29位という「滑り込みセーフ」の当選。大きな言葉を述べた時、時計の針はどうに付変更線を超えていました。

あらうはながないのであります。これまで市議が少なかつた南部ブロックに、新人(25歳・26歳・私)が3人も立候補。引退をほのめかしていた市議会最年長の現職(78歳)も出馬表明し、徒步数分圏内に4人がひしめき合つ最激戦区となっていました。かつて7,000人近くが暮らしていたマンモス団地・寿台の人口は、平成8年に5,000人を切つてなお減り続け、現在は3,300人強。かつての半数となっています。

## 後援会にご入会ください!

吉村幸代後援会では、ご入会くださる方、ご紹介してくださる方、お手伝いしてくださる方を求めています。会費は不要、活動内容は概ね次のとおりです。

- 後援会総会(年1回)
- 議会報告会(年4回)
- 意見交換会(随時)
- 活動レポートの発行(年3~4回)

ご住所等の変更があつた場合は、お知らせください。



▲当選後の初登壇、「地域社会における男女共同参画」について発言

## 市議会を傍聴しませんか?

市議会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。議員全員の会議を本会議、専門的に調べるグループを委員会といい、どちらも自由に傍聴可。お子様連れの場合は、託児サービス(1週間前までに予約)も受けられます。

日程の詳細については、市の広報やホームページ、新聞などでご確認ください。



▲松本市議会 平成27年6月定例会

**吉村幸代の所属は**

会派：みんなの未来  
常任委員会：総務委員会  
部会：広報部会  
議会だより編集班

さくらんば  
つぶらに平和のみを追い  
雪山



怒った顔の赤い粒と、笑顔の黒い粒。時には厳しく、時には楽しく、つぶらに愚直に活動していくことを願っています。

さくらんば  
つぶらに平和のみを追い  
雪山

▶ 在りし日の谷幸男氏、ご存命であれば、当選をどうにかしてもらいたかったことでしょうか

極めて厳しい戦いでした。のん気過ぎたという反省の声が、あちこちから上がっています。楽な選挙などは、地区内外から大勢の方々が詰めかけて、開票速報を見守りました。最初の1,000票までは順調だった開票状況が、徐々に失速し始めました。残り数議席となつてからは数字がまったく動かず、誰もが固唾をのんで手に汗を握り、緊張した面持ちです。ようやく私の名前前に「当選確実」の文字が冠された瞬間、「わあーっ」という大歓声が上がりました。2,038票獲得、第29位という「滑り込みセーフ」の当選。大きな言葉を述べた時、時計の針はどうに付変更線を超えていました。

あらうはながないのであります。これまで市議が少なかつた南部ブロックに、新人(25歳・26歳・私)が3人も立候補。引退をほのめかしていた市議会最年長の現職(78歳)も出馬表明し、徒步数分圏内に4人がひしめき合つ最激戦区となっていました。かつて7,000人近くが暮らしていたマンモス団地・寿台の人口は、平成8年に5,000人を切つてなお減り続け、現在は3,300人強。かつての半数となっています。

吉村幸代後援会は「好縁会」となつて続いて欲しいと願つ。(結城子)





▲3月8日(日)事務所開き

▲必勝だるまに目を入れる  
下島博幹事長

▲寿台太鼓連による必勝太鼓、候補者もバチを握って熱演



▲4月25日(土)選挙戦最終日の朝、寿台交差点にて



▲違反なしの選挙戦を貫いて



▲旗を作つて来たよ!



▲4月5日(日)総決起集会の準備中



▲4月14日(火)迫り来る告示日



▲公選はがきの準備に追われる選挙事務所

▲事務長は  
パソコンの先生、  
第6代寿台公民館長・  
安達隆洋氏

▲4月25日(土)町内練り歩きに出発



▲あたたかい声援に感謝



▲練り歩く人が道いっぱいに溢れて

▲85歳の選挙責任者、  
寿台町会連合会  
初代会長・上條敏氏

▲16年ぶりの候補者を乗せ、寿台の町を選挙カーが走る



▲4月19日(日)告示日



▲ポスター貼り隊員60人を率いた平林豊明隊長

▲選対の明るさは市内一 向かって左から、小澤慶子女性部長、  
東郷麻由美うぐいす姫、長田和子まかない隊長、渡辺政子後援会副会長

▲寿台中央商店街に構えた選挙事務所の前で

▲4月20日(月)出川・COMO庄内にて街宣活動



▲4月22日(水)個人演説会 応援弁士3人もすべて女性



▲4月26日(日)当選!!



▲必勝だるまが入る



▲感動の鏡割りは、寿台のオリジナル清酒「寿一番星」の樽



▲決して忘れません。支えていただいた闘いの日々



▲5月9日(土)後援会打ち上げの会(選対解散式)

